

ちくさ防災ニュース

発行・問合せ先

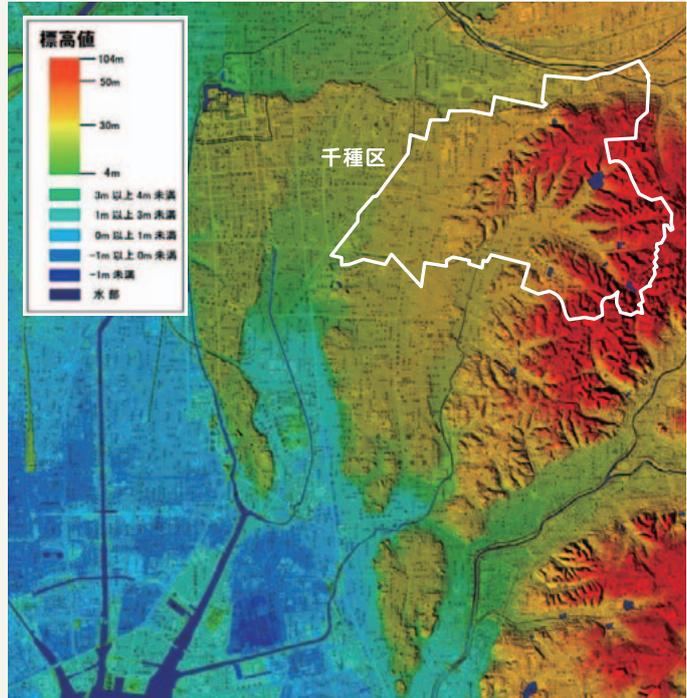
名古屋市千種区役所区政部総務課
名古屋市千種区覚王山通8-37
電話 052-753-1811

災害の歴史を知り、今に学ぼう

地形的特徴と歴史を学び 防災・減災に役立てよう

千種区は、地盤が強固な上、区内を貫流する河川もなく、地震や洪水といった災害の危険性が、名古屋市内の中でも比較的少ないと言われています。

千種区の地形的特徴や、住んでいる近隣がどんなところだったのか、過去の災害の時にどのような様子だったのかを改めて見直し、現代の災害対策の一助としましょう。



●デジタル標高地形図(国土地理院)を加工

千種区の地形的な特徴とは…

名古屋市の地形は、沖積低地、台地(熱田台地)、丘陵(東部丘陵)と、西から東に高くなっています。千種区は、熱田台地と東部丘陵に位置しています。

東部丘陵は、泥層・砂層・礫層が交互に重なる地層群からできています。千種区の西部の熱田台地をつくる地層は、上部が砂層、下部が泥層からできています。熱田層の下には、海部・

弥富累層と呼ばれる層があり、その層付近には地下水を多く含んだ層があります。なお、千種区の西部区界以西は大曾根層と呼ばれる砂礫層が南北にうすく広がっています。

このように、千種区の区域の地盤は、名古屋市西部と沖積層と比較して、長い年月をかけて強固な地盤が形成されていると考えられています。

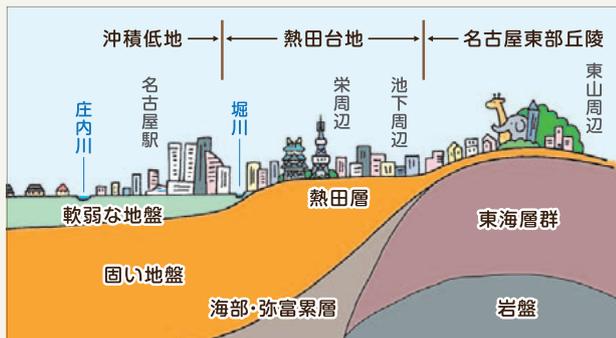
区内に点在したため池

千種区では、丘陵地が長い時間をかけて浸食された谷状の「谷戸」と呼ばれる地形が見られます。谷あいの土地では水が集まるため、江戸時代には農業用水の確保を目的として、灌漑用のため池が作られ、そこから用水を引き農業が営まれていました。

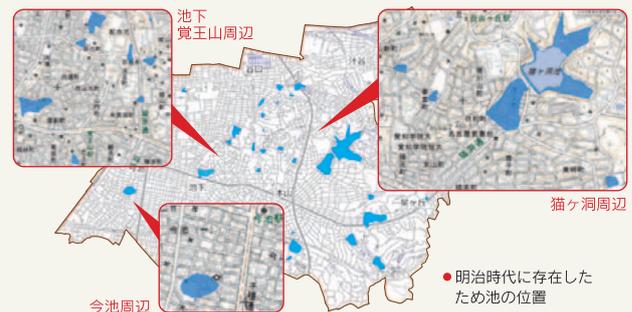
谷あいの土地で過去にため池があった場所は、窪んだ地形であるために水が溜まりやすいと考えられます。また、三方向が山に囲まれている場所は平地であっ

ても排水不良で一時的に雨水がたまることもあり注意が必要です。

一方で、平地に作られたため池も多くありました。例えば、現在の千種生涯学習センターや今池中学校、池下駅などは、過去にため池だった場所を埋め立てて作られています。大地震の際には、臨海部の埋立地ほどではないにしろ、噴砂や液状化現象の被害があることも想定しなくてはなりません。



●名古屋の地盤のイメージ



最大級の inland 地震・濃尾地震

濃尾地震は明治24(1891)年10月28日に発生した inland 直下型の地震で、マグニチュードは8.4、 inland 直下型の地震としては国内最大級の地震です。震源は現在の岐阜県本巣市付近の根尾谷断層で、岐阜県、愛知県を中心に7,000名あまりの死者が発生し、建物の全壊は140,000棟に上りました。

現在の千種区の区域は、当時愛知県に属していました。愛知県誌においても、濃尾地震は取り上げられており、「名古屋市以東は被害比較的軽かりしも」との記述があり、現在の名古屋西部のような被害の記録はありませんが、数字では現れない被害の様子が被災者の証言として残されています。

▶ 濃尾地震における被害の概況

	人的被害		住家被害
	死者	負傷者	全壊(戸数)
愛知県	2,459	6,736	34,494
名古屋(当時)	190	499	1,261
千種村(愛知県)	0	1	8

※「名古屋における既往の地震とその災害」(昭和54年、名古屋市)「愛知県誌 全」(大正12年、愛知県役所)



水野はなさん (当時7歳)

(中略)突然ゴーという音と同時に天地が揺れ出しました。母は「それ地震だ、早く出よ」との言葉に、私は走って逃げようと思うても、立つ事も歩む事も出来る、あちらへこちらへこちら、その内上からは物が落ちる、横からも物が落ちる。私は生きた心地はなく、何かの下敷になって死ぬのでないかと思いつき無我夢中で一生懸命に這い転がって道路へ出て命が助かりました。(中略)この恐ろしかった事は終生忘れることでできません。其後余震が毎日何回となく続き、家へ入る事出来ず、空地に掘立て小家を造って貰い、近所の人と共同生活をした覚えがあります。

濃尾地震の体験談

近藤まつさん (当時7歳)

(中略)当時くびり池(現在の鏡池)の上手に大人が三人で手をつないだくらの太い松の木がありましたが、その大松がしわっしわっっと大きく揺れていかにも恐ろしいと思いました。(中略)家が別段被害がない為(もともと電燈は無くランプを使用していました)衣食には不自由もありませんでしたが、何度も揺れる余震が恐ろしく、夜は外の小屋で一ヶ月くらい寝たように覚えています。(中略)たいへんに恐ろしいと思ったことは、家へ帰って間もなく、猫ヶ洞の上池の堤が切れ、続いて下池の堤も切れて、どつと水が流れてきたことです。(中略)あの時程の大地震はほかに記憶がありません。

※「濃尾地震生き証人の記録」(昭和54年、愛知県)から抜粋

治水のため江戸時代に築かれた「横堤」

千種区の北東部の、基幹バスが走る市道名古屋田圃町線と並走する香流川は、江戸時代頃までは氾濫を繰り返す河川であったため、治水工事が行われました。その時築かれた堤防が、「横堤」として汗谷交差点の南北に今も残っています。



▶ 千種区内の雨水貯留施設一覧

名称	所在地	貯留量(m ³)	稼働年度
自由ヶ丘雨水調整池	千種区春里町2丁目	10,000	昭和54年度
自由ヶ丘第2雨水調整池	千種区自由ヶ丘1丁目	1,000	昭和60年度
東山雨水調整池	千種区田代町	9,000	平成5年度
本山雨水調整池	千種区末盛通3~5丁目	3,300	平成15年度
山崎川左岸雨水滞水池(浸水対策別)	昭和区川原通、千種区田代本通	14,900	平成23年度
豊年雨水調整池	千種区豊年町、内山一丁目	3,400	平成24年度

※「平成27年度 事業年報」(平成28年12月、名古屋市上下水道局)

愛知県の主な被害地震一覧(震度5以上)

年	月 日	名称・呼称	震源地	M (震度)
715年	7月5日		三河	M6.7 (震度5-6)
745年	6月5日		美濃	M7.9 (震度6-7)
762年	6月9日		美濃・飛騨	M7.4 (震度5-6)
887年	8月26日		五畿七道	M8.6 (震度5)
1096年	12月17日		畿内・東海道	M8.4 (震度6-7)
1124年	3月		尾張	M5~6 (震度5-6)
1185年	8月13日		琵琶湖畔	M7.4 (震度5)
1498年	9月20日	明応地震	東海道	M8.6 (震度5-6)
1586年	1月18日	天正地震	伊勢湾(不明)	M8.2 (震度6-7)
1662年	6月16日		琵琶湖畔	M7.6 (震度5)
1666年	5月31日		知多半島	M6.3 (震度5-6)
1669年	6月29日		尾張	M5.9 (震度5-6)
1681年	9月2日		木曾川下流	M5~6 (震度5)
1685年	4月		三河	M6.4 (震度5-6)
1686年	10月3日		三河・遠江	M7.0 (震度5-6)
1707年	10月28日	宝永地震	東海道・五畿七道	M8.4 (震度7)
1802年	11月17日		尾張	M6 (震度5)
1819年	8月2日		伊勢・美濃・近江	M7.4 (震度5-6)
1854年	10月11日		伊勢	M6 (震度5)
1854年	12月23日	安政地震	東海道	M8.4 (震度5-6)
1854年	12月24日		南海道	M8.4 (震度5)
1855年	11月7日		三河	不明 (震度5-6)
1891年	10月28日	濃尾地震	美濃	M8.4 (震度7)
1894年	1月10日		愛知県北部	M7 (震度5-6)
1909年	8月14日		滋賀県姉川流域	M6.9 (震度5)
1923年	9月1日	関東大震災	神奈川県小田原	M7.9 (震度5)
1944年	12月7日	昭和東南海地震	東海沖	M8 (震度6)
1945年	1月13日	三河地震	三河	M6.8 (震度7)

※「明応地震・天正地震・宝永地震・安政地震の震害とその震度分布」(昭和54年、愛知県)

伊勢湾台風

■ 千種区での被害

東部丘陵地に位置し、名古屋市南部と比較すると立地条件に恵まれています。しかし、丘陵地であるがゆえに、強い南風の影響が大きく、菊坂町、丘上町などの南斜面で風圧による家屋倒壊が見られたという記憶が残っています。

■ その他

区内の小学校では、台風被災地からの仮入学者の受け入れ、PTAによる炊き出しなど、児童会中心で南区の小学校に対して物心両面での慰問を行った、という記録が残っています。

▶ 最高浸水水位図(伊勢湾台風)



※「伊勢湾台風災害誌」(昭和36年、名古屋市)

このほか、河川の増水や排水不良の影響により、汗谷付近、末盛通付近など、丘陵地に降った雨水が集まる場所での浸水被害が記録されています。

▶ 千種区の浸水被害とその概況一覧

	人的被害	住家被害		浸水被害	
	死者・行方不明者	全壊(戸数)	半壊(戸数)	床上(戸数)	床下(戸数)
全国	5,098	36,135	113,052	157,858	205,753
愛知県	3,260	23,334	97,049	53,560	62,831
名古屋市	1,851	6,166	43,249	34,883	32,469
千種区	5	171	689	32	808

※「消防白書」(平成22年、消防庁)、「愛知県伊勢湾台風災害復興誌」(昭和39年、愛知県)、「伊勢湾台風災害誌」(昭和36年、名古屋市)